

DIASシンポジウム2016

## 日本が果たし得る役割と地球環境情報

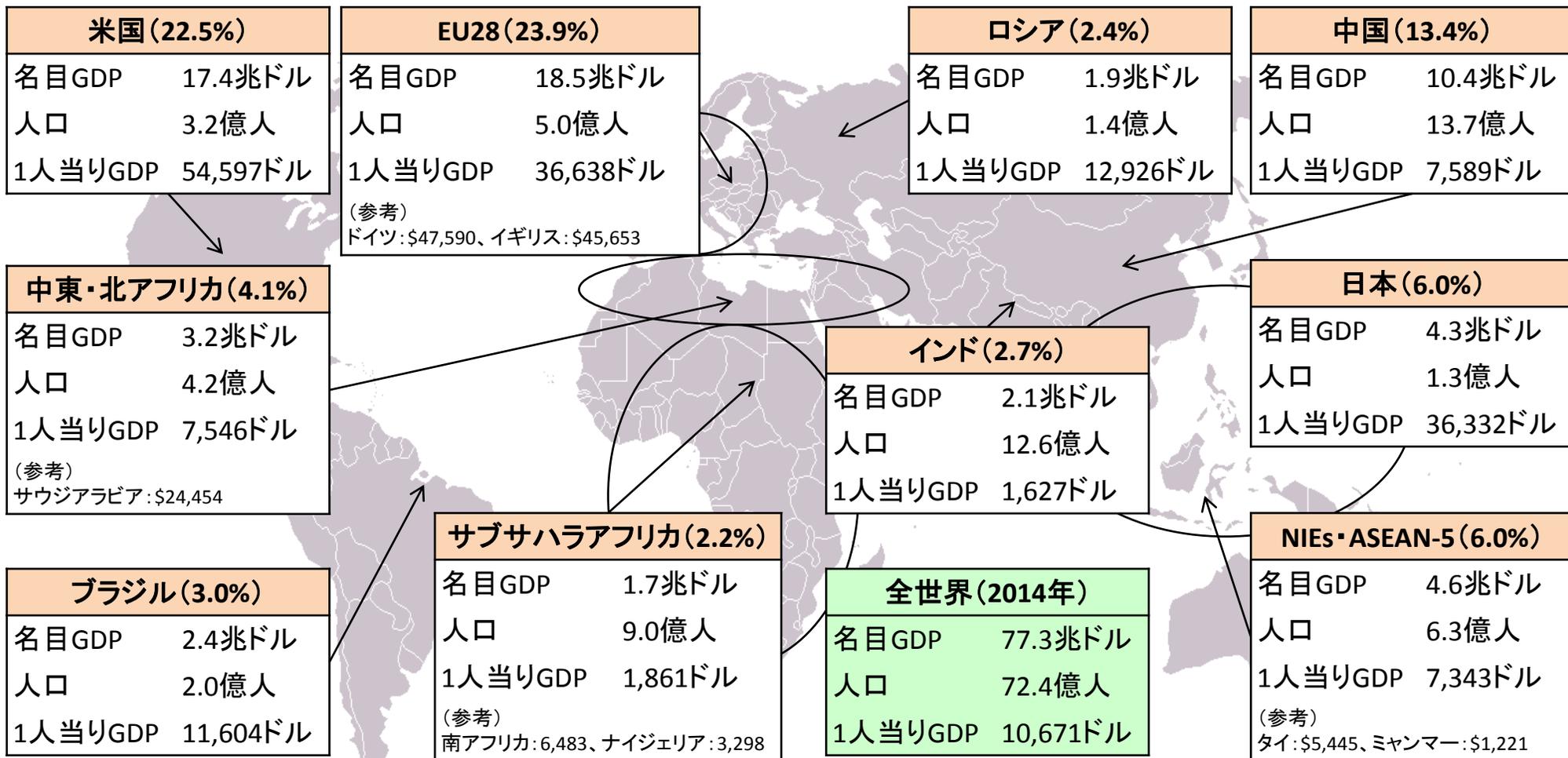
2016年8月1日

国立研究開発法人科学技術振興機構

研究開発戦略センター 藤山 知彦

# 世界経済の現状(2014年)

世界GDPに占める米国の比率は22.5%。中国、日本は、それぞれ13.4%、6.0%。



出所) IMF, World Economic Outlook 2015 October  
注) 国・地域名の横の数値は世界名目GDPに占めるシェア。

# グローバリズムの揺らぎ

## リーマンショック後の世界経済

- 先進国の成長戦略失敗
- 金融制度改革中途半端
- 先進国低成長  
(新興国は高→低)

## グローバリズムへの非追随文化圏

- イスラム
- 中国

## グローバリズムの4要素

- ① 市場主義、資本主義
- ② 民主主義、個人の人権
- ③ 科学技術への信頼
- ④ ギリシャ・ローマ・キリスト教的)  
リベラルアーツ

(藤山作成)

## グローバリズムの揺らぎ

- アマルティア・センハーバード教授  
「グローバリズムの基本原理は不変だが、  
手直しする必要がある。」  
(2012年2月 世界文明フォーラム)
- クラウス・シュワブ会長  
「新しい現実に向けた規範の共有が重要」  
(2011年1月 ダボス会議)

明確な意思表示

加速

## グローバリズムの内包する課題 (次頁)

市場主義が内包する課題

民主主義が内包する課題

科学技術が内包する課題

## 市場主義が内包する課題

- バブルの発生と崩壊
- 市場の公平性に対する疑問
- 政府と市場の関係
- 実体経済と金融市場

## 民主主義が内包する課題

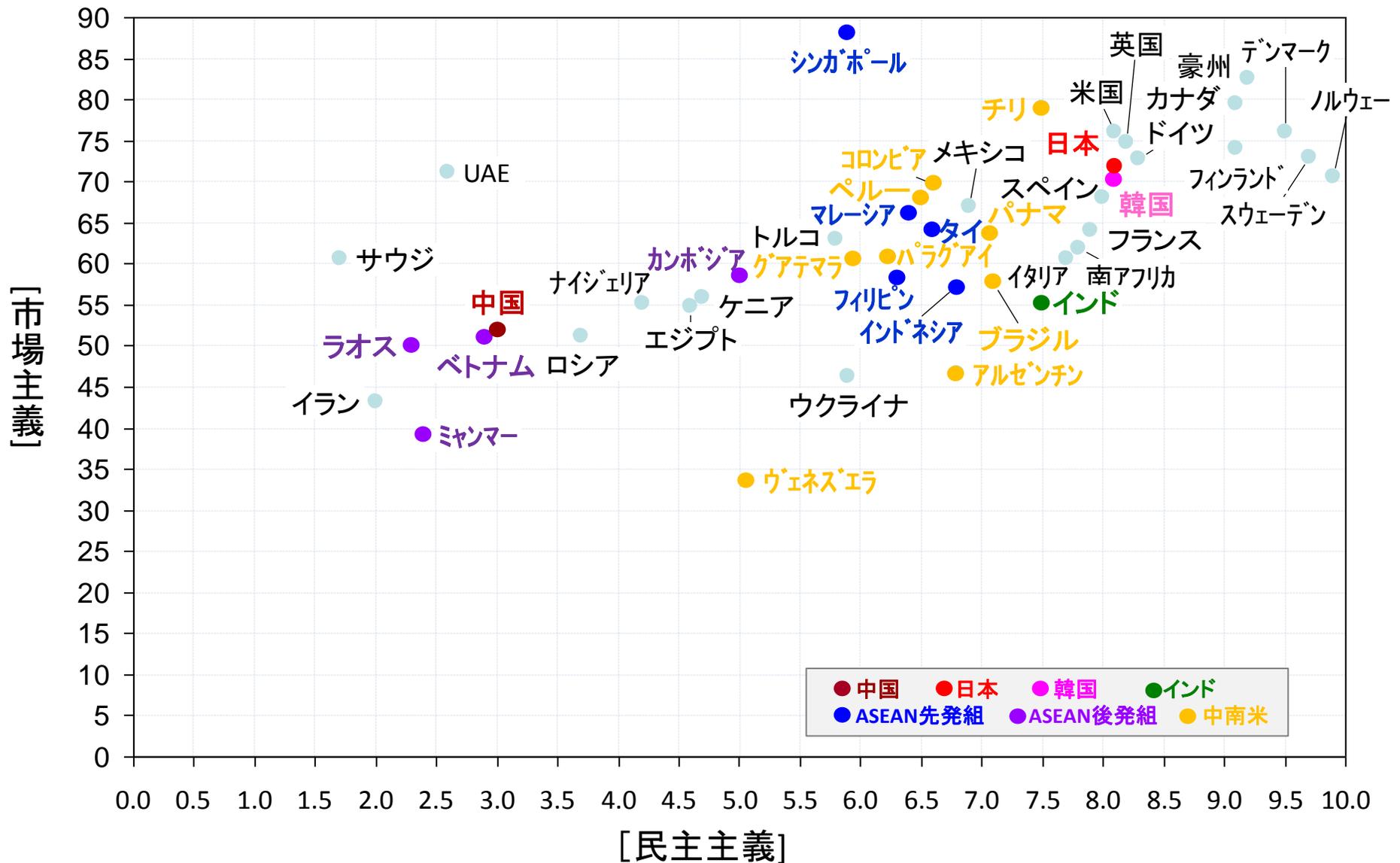
- ポピュリズムへの対策
- 中産階級の衰退
- 民主主義教育の不足

## 科学技術が内包する課題

- 科学技術と人文科学、社会科学
- 科学技術の効用とリスク
- 生命科学
- 情報通信技術、ビックデータ
- 人工知能
- 原子力技術

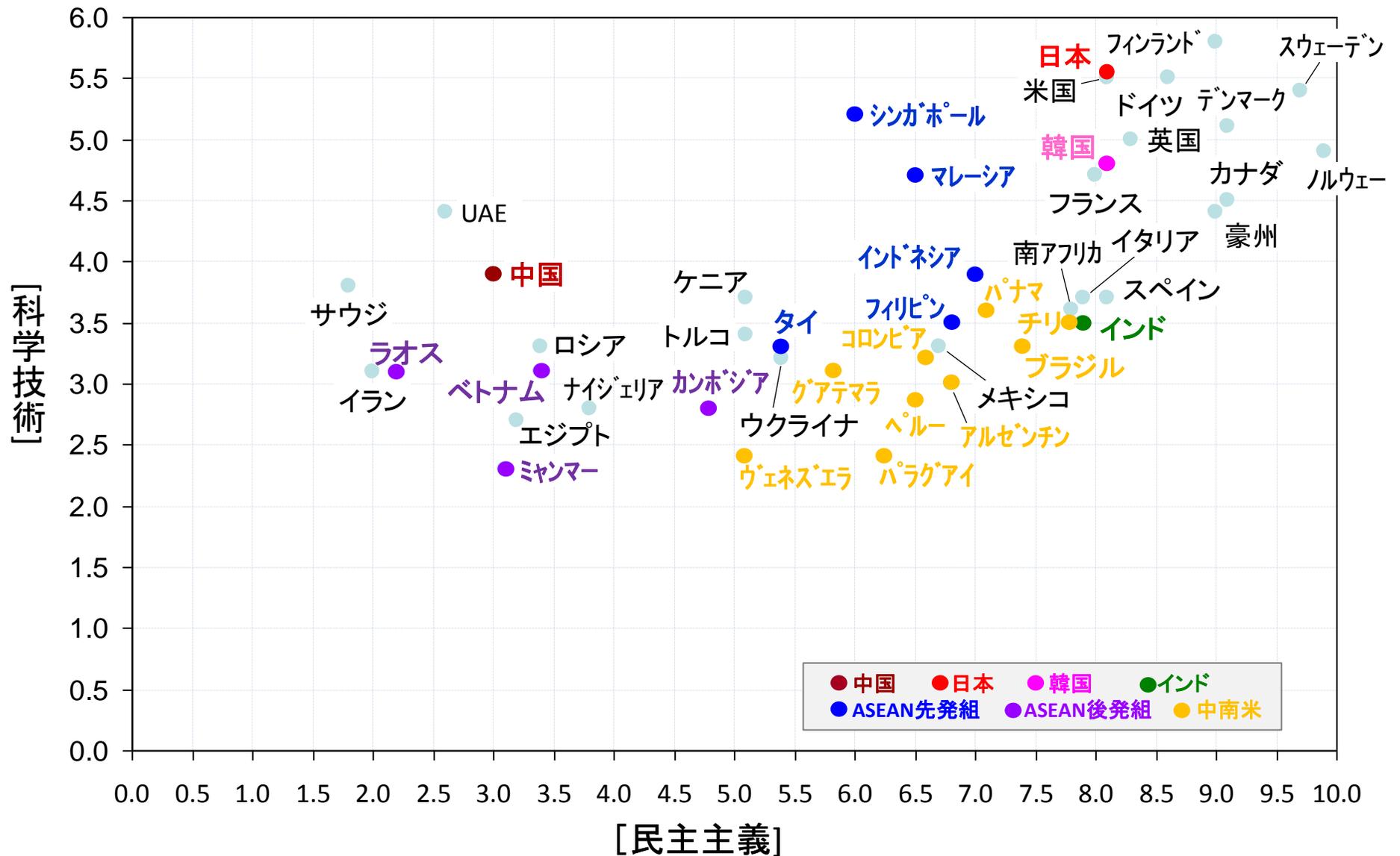
等

# 民主主義と市場主義の関係



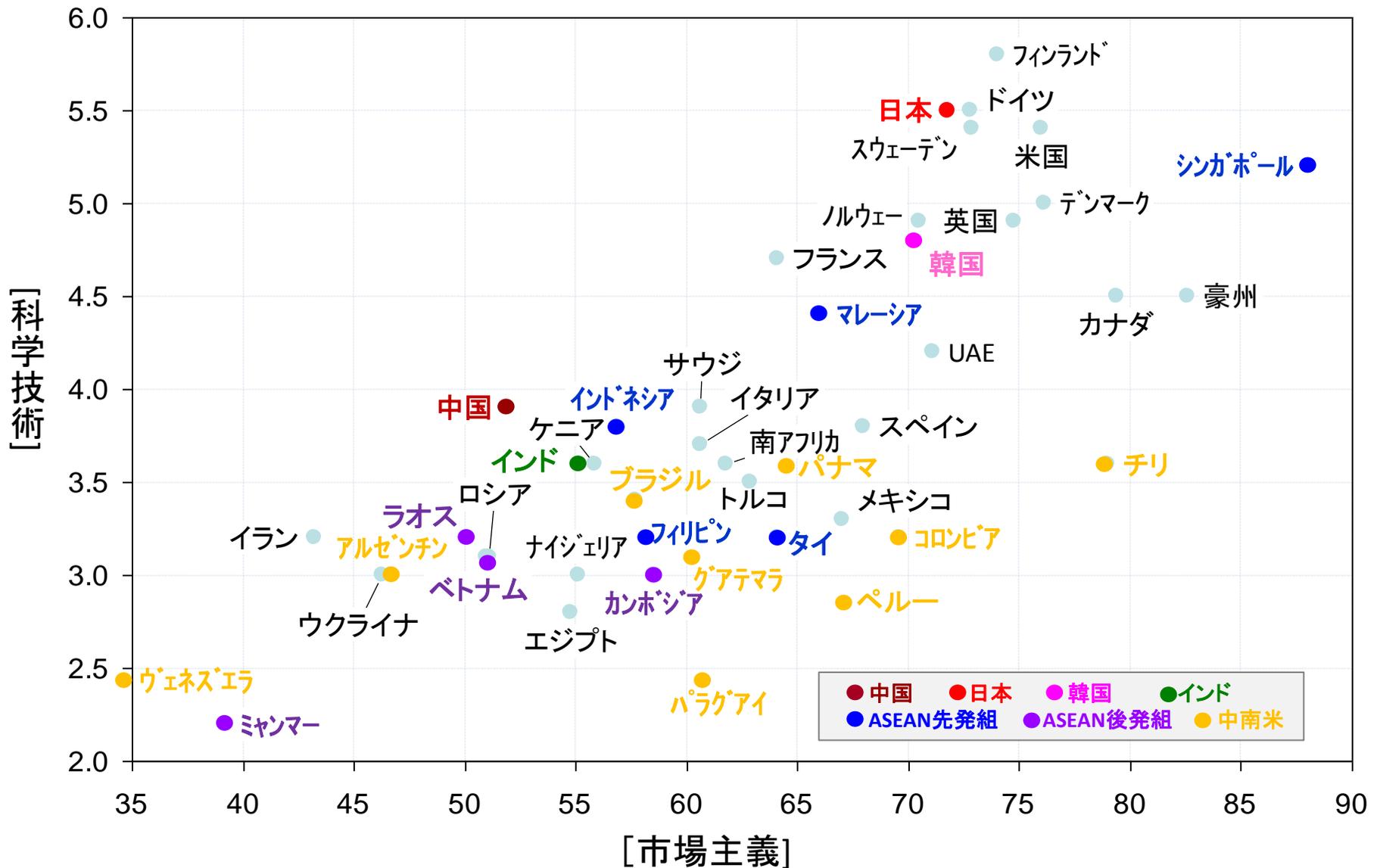
出所) Economist Intelligence Unit, "Democracy Index 2014"  
The Heritage Foundation and Dow Jones & Company, Inc., "2015 Index of Economic Freedom"

# 民主主義と科学技術の関係



出所) Economist Intelligence Unit, "Democracy Index 2014"  
World Economic Forum, "The Global Competitiveness Report 2014-2015"

# 市場主義と科学技術の関係



出所) The Heritage Foundation and Dow Jones & Company, Inc., "2015 Index of Economic Freedom"  
World Economic Forum, "The Global Competitiveness Report 2014-2015"

新しいグローバリズム



グローバリズムは揺れている  
(修正を求められている)

- ノーベル賞経済学者アマルティア・セン教授  
「グローバリズムの基本原理は不変だが、  
手直しする必要がある」  
(2012年2月、世界文明フォーラム)
- 世界経済フォーラムクラウス・シュワブ会長  
「新しい現実に向けた規範の共有が重要」  
(2011年1月、ダボス会議)

日本がグローバリズムの修正を主導することが、  
日本の成長・発展戦略になる。

(日本の立ち位置)  
グローバリズムを体現し、しかも独自の文化も温存している。  
世界から尊敬される価値観を発信する能力がある。

(グローバリズムの4つの要因)

市場主義

民主主義

科学技術

リベラルアーツ

日本がグローバリズムの修正を主導し、日本の成長・発展戦略とするためには、世界から認められている固有の姿・能力を活かすことが重要である。

## 日本の特筆すべき姿・能力

- |            |           |
|------------|-----------|
| ✓ 正確さ      | ✓ 真面目、勤勉  |
| ✓ おもてなし    | ✓ 礼儀正しい   |
| ✓ もったいない   | ✓ 気さく、優しい |
| ✓ 無常観      | ✓ 創造性     |
| ✓ 地球家族主義   | ✓ 繊細      |
| ✓ 細部へのこだわり | ✓ 連帯感、信頼  |
| ✓ 遊び心、粋    | ✓ 平和愛好的   |

日本の  
イメージ・アイデンティティの形成  
(?)

【参考1】電通「ジャパン・ブランド調査」(2012年7月)の概要

- ① 海外から見た日本の主な魅力は「旅行・自然景観」と「食」
- ② 注目される「日本食(=料理)」と「日本食材」
- ③ 日本人の真面目さは万国共通の認識
- ④ 日本と交流の多い地域で感じられている集団行動の規律性。  
東南アジアで感じられているクリエイティブ力と行き過ぎた「繊細さ」
- ⑤ 日本の『食』『旅行・自然景観』『伝統文化』への興味・関心と、  
日本人の礼儀正しさ・繊細さというイメージの相関関係は強い

【参考2】英BBC放送「好感度の高い国」調査(25カ国、2万6千人以上に対するアンケート)

2013年5月発表分

2012年5月発

表分

- |        |       |
|--------|-------|
| 1位ドイツ  | 1位日本  |
| 2位カナダ  | 2位ドイツ |
| 3位英国   | 3位カナダ |
| 4位日本   | 4位英国  |
| 5位フランス | 5位中国  |

【市場主義】やや独自性が求められる。

- 基本的に市場主義の立場を堅守。従って、市場主義に関わるインフラの整備は重要。
- 世界の金融資産の動きが実物経済に大きな影響を及ぼしている事態に関して、国際的な金融制度改革の問題提起を行う。
- アジア最大で特色ある効率的金融市場を目指す。

【民主主義】グローバリズムをリードすることを目指す。

- 民主主義を堅守。
- 日本の現状の民主主義がポピュリズムに陥らないような工夫が必要。
- 民主主義の歴史、コスト、必要性を徹底教育。
- 投票行動への工夫(未成年人口の票への反映、マイナス投票などを検討)。
- 被選挙人の資質・能力検査、政治家志望者への組織的な教育を検討。

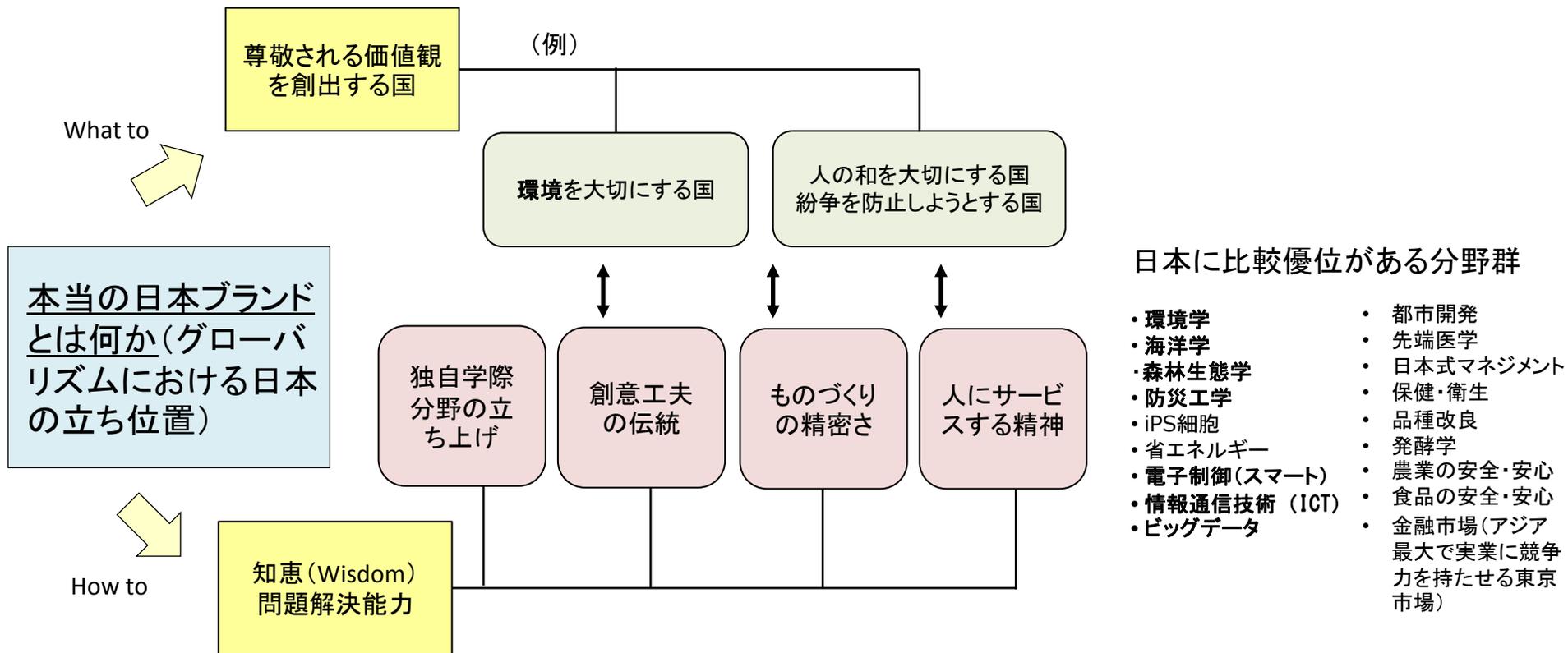
【科学技術】グローバリズムをリードすることを目指す。

- 科学技術立国を堅守。
- 理科教育を更に充実。
- スーパー科学者育成の教育システムを構築。
- 特定分野を定め“世界一”を目指す(生命科学、材料科学、気象、海洋、ビッグデータなどが候補)。
- 科学技術を管理する行政体系の構築。
- 科学技術とヒューマニティの関係を強く意識する(「科学技術を見る眼」)。

【リベラルアーツ】独自性が求められる。

- ギリシャ・ローマ・キリスト教(欧米)の作り上げたリベラルアーツに敬意を表するが埋没しない。
- 争いを回避する文化、自然観、環境観などに独自の考えを確立する(文化の多様性容認)。
- 日本語の海外普及に力を入れる。
- 中国・仏教をはじめとした東洋思想の流れを再認識する。
- 科学技術を形而上学的な立場から見る眼を養い、日本哲学の先端分野とする(「科学技術を見る眼」)。
- アジア学の充実。

# 本当の日本ブランドとは何か



## 学に対する支援

- 比較優位がある科学技術の徹底支援 (特区、インセンティブなど)
- 非グローバルリズムの研究 (特にアジア学の充実)
- 科学技術 × 社会科学 × 人文科学のインターフェースの研究の充実 (ELSI学の充実など) (注) ELSI・・・Ethical, Legal and Social Issues
- 「最先端研究開発支援プログラム (FIRST)」の後継政策などによる最先端研究者の支援

## 産に対する支援

- 国家戦略特区を活用した規制緩和、インセンティブ付与
- 技術だけでなくビジネスモデル立ち上げのための規制緩和
- 日本型ビジネスモデルの輸出 (コンビニ、家元、・・・)
- 文化輸出に対する支援